

「個人不動産賃貸」

6 _記帳の練習

説明書

平成29年12月

りゅう

目 次

§ 記帳の練習	1
（１）初期設定をする	2
1）企業情報	2
2）青色申告控除額	2
3）消費税	2
4）科目設定をします	2
5）賃借人の設定をします	3
（２）仕訳日記帳の記帳をする	5
1）A 銀行の期首残高	5
1）銀行ローンの入力	6
2）ほかの取引の入力	7
（３）「仕訳モデル」を作成する	9
1）最初のモデルの登録	9
2）つぎのモデルの登録	10
3）残りのモデルの登録	10
4）区切り行の登録	11
（４）仕訳日記帳の入力の省力化	13
1）登録一覧の項目からの転送	13
2）「仕訳モデル」の利用	13
（５）前に挿入する	17
仕訳日記帳で挿入データの入力	17
（６）訂正をする	18
（７）削除する	18

§ 記帳の練習

練習のため簡単な取引を入力してみましょう。

例題

2010年の1月に2階建てのアパートを作りました。建設費は銀行からのローンで賄い賃料から返済をします。

家賃は1階(101号室)が8万円、2階(201号室)が7万円です。敷金は2ヶ月、礼金は1ヶ月です。

入居は2月1日からで、毎月の家賃は当月分を10日までに支払うものとします。ローンの返済は月末の25日に引き落とされます。

礼金と家賃は「A銀行」に、敷金は「B銀行」にします。A銀行の残高は10万円ありますが、B銀行はありません。

賃借人は101号室を山田さん、201号室を小島さんと仮定します。

これを日ごとの簡単なメモにすると

1月29日	銀行ローン4500万円がA銀行普通口座に振り込まれた
31日	建設会社に4500万円の建設費を支払った 賃貸契約をし、敷金、礼金を受け取った 内訳 敷金...101号室 山田 16万円 201号室 小島 14万円 礼金...101号室 山田 8万円 201号室 小島 7万円
2月10日	2月分の家賃を受け取った。 家賃...101号室 山田 8万円 201号室 小島 7万円
25日	ローン返済 内訳 元金分...10万円 利息分... 1万円
3月 8日	3月分の家賃を受け取った。 内訳 家賃...101号室 山田 8万円 201号室 小島 7万円

日ごとのメモを仕訳日記帳に記入(入力)していきます。

なお、金額は練習なので適当な値にしてあります。

(1) 初期設定をする

最初に「初期設定」をします。《初期設定》画面を呼び出します。以下の項目を設定します。

《初期設定》

初期設定：2017年(平成29年)

企業情報

企業名：
住所1：
住所2：
住所3：
電話：
FAX：
オーナー：

青色申告控除額
控除額 65万円

消費税
対象年：2017 免税
消費税：● 免税 ○ 簡易課税

メニューへ

勘定科目と期首残高

勘定科目の変更は、先に右のアクションを指定してから下の勘定科目一覧の対象の区分がコードをマウス右でクリックするか、入力域のコード欄に直接入力してください。

勘定科目一覧

区分	コード	科目	期首残高	メモ(参考)
資産	100	現金	0	
資産	110	普通預金	0	
資産	120	定期預金	0	
資産	130	その他の預金	0	
資産	140	受取手形	0	
資産	150	未収賃料	0	
資産	160	未収金	0	
資産	170	有価証券	0	
資産	180	前払金	0	
資産	190	貸付金	0	
資産	200	建物	0	
資産	210	建物付属設備	0	
資産	220	構築物	0	
資産	230	船舶	0	
資産	240	工具器具備品	0	
資産	250	土地	0	
資産	260	借地権	0	
資産	270	公共施設負担金	0	
資産	280		0	
資産	290		0	

コード文字が黒色は登録済み。すぐに使えます。
コード文字が茶色は登録しないと使えません。
コード枠が黄色は使用中です。

科目候補

アクション
○ 登録・訂正
○ 未登録にする

入力域
コード
科目名
期首残高
メモ(参考)

↓↓↓
アクション
キャンセル
勘定科目一覧の保存

1) 企業情報

この入力は任意です。仕訳などに影響することはありません。

2) 青色申告控除額

税務署への申告が必要です。申告をしないと控除は「なし」です。仮に10万円とします。

3) 消費税

賃貸物件が「住居」なら必要ありません。「免税」にします。

4) 科目設定をします

銀行口座のための設定をします。つぎの手順でおこないます。

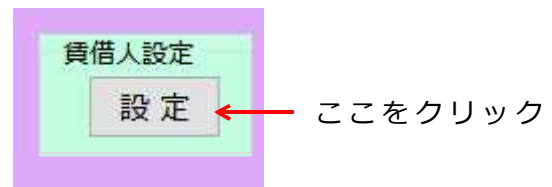
	A 銀行	B 銀行
コード	111	112
科目名	A 銀行普通	B 銀行普通
期首残高	100,000	0
メモ	賃料、礼金	敷金
「登録・訂正」ボタン	クリック	クリック

《設定が終わったところ》

勘定科目一覧					先頭	末尾
区分	コード*	科 目	期首残高	メモ(参考)		
資産	100	現 金	0			
資産	110	普通預金	100,000			
資産	111	A銀行普通	100,000	貸料、礼金		
資産	112	B銀行普通	0	敷金		
資産	120	定期預金	0			
資産	130	その他の預金	0			
資産	140	受取手形	0			
資産	150	未収借料	0			

5) 賃借人の設定をします

ついでに「賃借人設定」をしておきます。
左下に右の「賃借人設定」があります。
「設定」ボタンをクリックしてください。
下の《賃借人設定》画面が出ます。



《賃借人設定》

賃借人設定：2017年(平成29年)

アクションの指定

☐ 新規
☐ 訂正
☐ 削除
☐ 前に挿入

閉じる

入力欄：

入力欄クリア

アクション

No	賃借人	本年中の 賃貸期間	賃貸料 (月額)	保証金 敷金

入力欄移動

右へ：Enter

左へ：CTRL+←

月/日--月/日

賃借人一覧：

先頭

末尾

* No	賃借人	本年中の 賃貸期間	賃貸料 (月額)	保証金 敷金

賃借人は2人です。「設定」はつぎのようにします。

	山田	小島	
アクションの指定	新規	そのまま	
賃借人	101 山田	201 小島	
本年中の賃貸期間	02/01--12/31	02/01--12/31	← 12/31は仮
賃貸料(月額)	80000	70000	
保証金、敷金	160000	140000	
新規ボタン	クリック	クリック	

《登録されたところ》

賃借人設定：2017年(平成29年)

アクションの指定
☒ 新規 ☐ 訂正 ☐ 削除 ☐ 前に挿入

閉じる

入力欄：
 入力欄クリア 新規

No	賃借人	本年中の賃貸期間	賃貸料(月額)	保証金敷金

入力欄移動
 右へ：Enter
 左へ：CTRL+←

賃借人一覧：
 先頭 末尾

*	No	賃借人	本年中の賃貸期間	賃貸料(月額)	保証金敷金
1	101	山田	02/01--12/31	80,000	160,000
* 2	201	小島	02/01--12/31	70,000	140,000

「閉じる」ボタンを押して《初期設定》に戻り、さらに《メニュー》に戻ります。
 このとき「ファイルが変更されている」のメッセージが出ますが無視して先に進みます。

(2) 仕訳日記帳の記帳をする

いよいよ記帳です。《メニュー》画面から「仕訳日記帳」ボタンをクリックします。はじめての記帳なのでアクションは「新規」です。

1) A銀行の期首残高

《初期設定》で「期首残高」を10万円計上しました。これはこの通帳を使うときに残高があったためですが、これを開業資金として利用します。そのための仕訳をします。

日付	借方	金額	貸方	金額	摘要
1月29日	A銀行普通	10万円	元入金	10万円	開業資金

(ア)「入力欄のアクション」の「新規」をクリック。

(イ)「入力欄」に入力をします。入力項目に以下のように入力します。

伝票 ... 伝票は使っていないので、Enter を押します。
 月/日 ... 1/29 と入力します。
 借方コード ... A銀行の勘定科目のコード 111 を入力します。わからなければ「科目ヘルプ」から「A銀行普通」を探し、そのコードを右クリックします。
 借方科目 ... 科目名はコードが入力されると、自動的に表示されます。
 借方金額 ... 金額を入力します。カンマはあってもなくてもよい。
 貸方コード ... 借方の時と同じ要領です。銀行からのローンなので、ヘルプから「元入金」を探し、そのコードを右クリックします。
 貸方科目 ... 科目名はコードが入力されると、自動的に入力されています。
 貸方金額 ... 金額を入力します。カンマはあってもなくてもよい。
 摘要 ... 「開業資金」と入力します。摘要の入力が終わり Enter を押すと「新規」ボタンが待機になります。
 新規ボタン ... クリック

(ウ) これで開業資金の入力ができました。

「登録済一覧」に記録されたのを確認してください。

《登録済一覧に登録された》

登録済一覧											
1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月											
*	付	連番	伝票	月/日	J-T*	借方科目	借方金額	J-T*	貸方科目	貸方金額	
*		1		01/29	111	A銀行	100,000	620	元入金	100,000	開業資金

2) 銀行ローンの入力

日付	借方	金額	貸方	金額	摘要
1月29日	A銀行普通	4500万円	借入金	4500万円	銀行ローン

これを「仕訳日記帳」に記録するためには次の手順でおこないます。

(ア)「入力欄のアクション」の「新規」をクリック。

(イ)「入力欄」に入力をします。入力項目に以下のように入力します。

伝票 ... 伝票は使っていないので、Enter を押します。

月/日 ... 1/29 と入力します。

借方コード ... A銀行の勘定科目のコード 111 を入力します。わからなければ「科目ヘルプ」から「A銀行普通」を探し、そのコードを右クリックします。

借方科目 ... 科目名はコードが入力されると、自動的に表示されます。

借方金額 ... 金額を入力します。カンマはあってもなくてもよい。

貸方コード ... 借方の時と同じ要領です。銀行からのローンなので、ヘルプから「借入金」を探し、そのコードを右クリックします。

貸方科目 ... 科目名はコードが入力されると、自動的に入力されています。

貸方金額 ... 金額を入力します。カンマはあってもなくてもよい。

摘要 ... 「銀行ローン」と入力します。摘要の入力が終わり Enter を押すと「新規」ボタンが待機になります。

新規ボタン ... クリック

(ウ) これで銀行ローンの入力ができました。

「登録済一覧」に記録されたのを確認してください。

《登録済一覧に登録された》

登録済一覧		1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月											
*	付	連番	伝票	月/日	J-T*	借方科目	借方金額	J-T*	貸方科目	貸方金額	摘		
		1		01/29	111	A銀行普通	100,000	620	元入金	100,000	開業資金		
*		2		01/29	111	A銀行普通	45,000,000	400	借入金	45,000,000	銀行ローン		

3) ほかの取引の入力

他の取引を入力します。下にまとめてありますが、今入力した手順でおこなえばよいのです。

月日	借 方		貸 方		摘 要
	科目名	金 額	科目名	金 額	
1/30	建物	4500万円	A 銀行普通	4500万円	建築費支払
1/31	B 銀行普通	30万円	保証金・敷金	16万円	101 山田 敷金
			保証金・敷金	14万円	201 小島 敷金
1/31	A 銀行普通	15万円	礼金・権利金・更新料	8万円	101 山田 礼金
			礼金・権利金・更新料	7万円	201 小島 礼金
2/9	A 銀行普通	8万円	賃貸料	8万円	101 山田 2 月分家賃
2/10	A 銀行普通	7万円	賃貸料	7万円	201 小島 2 月分家賃
2/25	借入金	10万円	A 銀行普通	11万円	銀行ローン元金分
	借入金利子	1万円			銀行ローン利息分
3/8	A 銀行普通	15万円	賃貸料	8万円	101 山田 3 月分家賃
			賃貸料	7万円	201 小島 3 月分家賃

最初は一行一行丹念に入力してみます。賃借人に関する「摘要」欄は注意が必要です。「賃借人」の文字列を「摘要欄」の先頭に入力してください。

《仕訳日記帳》

金 額	科目名
300,000	摘
160,000	101 山田 敷金

《賃借人設定》

No	賃借人
1	101 山田
2	201 小島

同じにする

入力が終わると次ページのような筈です。

《登録済一覧に登録された》

登録済一覧														先
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
*	付	連番	伝票	月/日	J-T*	借方科目	借方金額	J-T*	貸方科目	貸方金額	摘			
		1		01/29	111	A銀行普通	100,000	620	元入金	100,000	開業資金			
		2		01/29	111	A銀行普通	45,000,000	400	借入金	45,000,000	銀行ローン			
		3		01/30	200	建 物	45,000,000	111	A銀行普通	45,000,000	建築費支払い			
		4		01/31	112	B銀行普通	300,000	420	保証金・敷金	160,000	101 山田 敷金			
		5		01/31				420	保証金・敷金	140,000	201 小島 敷金			
		6		01/31	111	A銀行普通	150,000	710	礼金・権利金・更新料	80,000	101 山田 礼金			
		7		01/31				710	礼金・権利金・更新料	70,000	201 小島 礼金			
		8		02/09	111	A銀行普通	80,000	700	賃貸料	80,000	101 山田 2月分家賃			
		9		02/10	111	A銀行普通	70,000	700	賃貸料	70,000	201 小島 2月分家賃			
		10		02/25	400	借入金	100,000	111	A銀行普通	110,000	銀行ローン元金分			
		11		02/25	780	借入金利息	10,000				銀行ローン利息分			
		12		03/08	111	A銀行普通	150,000	700	賃貸料	80,000	101 山田 3月分家賃			
		13		03/08				700	賃貸料	70,000	201 小島 3月分家賃			

「収入の内訳」を見てみましょう。《メニュー》画面から「収入の内訳」ボタンをクリックします。

表示月から任意の月を選び、「表示」ボタンをクリックします。下は「年次」を選んだものです。

《収入の内訳》

表示月: 年次
表示
印刷用
CSV出力
メニューへ

仕訳日記帳の記入は 03/08 までです

不動産所得の収入の内訳

先頭 末尾

年次			本年中の収入金額					(期末残高)
No	賃借人	本年中の契約期間	賃貸料 (月額)	賃貸料 (年額)	礼金 更新料	名義書換 その他	保証金 敷金	
1	101 山田	02/01--12/31	80,000	160,000	80,000	0	160,000	
2	201 小島	02/01--12/31	70,000	140,000	70,000	0	140,000	
**		* 合計 *		300,000	150,000	0	300,000	

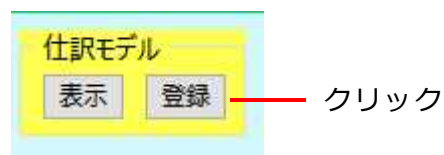
わずか2ヶ月分ですが、感じは掴めたと思います。

賃借人の欄に入力する文字を「101 山田」としましたが、これは摘要欄に入力したときに誰の分かがわかるからです。賃借人の文字は任意の文字でよいのですが、摘要欄に転記したときにわかりにくい文字は避けた方がよいでしょう。

(3)「仕訳モデル」を作成する

仕訳した取引の「登録済一覧」を見ると、毎月出てくる取引があります。「家賃」と「ローン返済」です。これは「仕訳モデル」を作って利用した方がよさそうです。

《仕訳日記帳》画面の上の方に右のボタンがあります。これをクリックします。



《仕訳モデルの登録》画面が出ます。

《仕訳モデルの登録》

仕訳モデルの登録：2017年(平成29年)

仕訳モデルに対するアクション
☐ 新規 ☐ 訂正 ☐ 削除 ☐ 前に挿入

アクション 戻る

仕訳モデル入力欄

科目ヘルプ 入力欄クリア

連番	コード	借方科目	借方金額	コード	貸方科目	貸方金額	摘要

登録した仕訳モデル

先頭 末尾

* 連番	コード	借方科目	借方金額	コード	貸方科目	貸方金額	摘要

1) 最初のモデルの登録

最初のモデルは①の行です。

借 方			貸 方		摘 要
科目名	金 額		科目名	金 額	
① 111 A 銀行普通	8万円		700 賃貸料	8万円	101 山田 2月分家賃
② 111 A 銀行普通	7万円		700 賃貸料	7万円	201 小島 2月分家賃
③ 400 借入金	10万円		111 A 銀行普通	11万円	銀行ローン元金分
④ 780 借入金利子	1万円				銀行ローン利息分

登録の仕方はつぎのとおりです。

(ア)「仕訳モデルに対するアクション」は「新規」をクリックします

(イ)「仕訳モデル入力欄」は

コード(借方) 111
 借方科目 自動でセットされる
 借方金額 80000
 コード(貸方) 700

借方科目 自動でセットされる
 借方金額 80000
 摘要 101 山田 2月分家賃

(ウ)「新規」ボタンをクリックします

と入力します

2) つぎのモデルの登録

つぎのモデルは②の行です。①と同じようにすればよいのですが、ここでは便法を使ってみます。

つぎのようにします。

(ア)《仕訳日記帳》画面で「アクション」を「訂正」にします

(イ)「登録済一覧」から②の行に相当する取引を探し、その「*」欄をマウス左クリックします。

入力欄をクリックされた取引の内容が転送されます。

(ウ)「仕訳モデル」の「登録」ボタンをクリックします。

(エ)《仕訳モデルの登録》画面になり、その「入力欄」には《仕訳日記帳》の「入力欄」の内容が転送されています。

(オ)「仕訳モデルに対するアクション」は「新規」にします。

「入力欄」の内容は変更しなくてもよいので、「新規」ボタンを押します。

その結果、下のように登録されます。

《登録されました》

登録した仕訳モデル

* 連番	J-T*	借方科目	借方金額	J-T*	貸方科目	貸方金額	摘
1	111	A銀行普通	80,000	700	賃貸料	80,000	101 山田 2月分家賃
* 2	111	A銀行普通	70,000	700	賃貸料	70,000	201 小島 2月分家賃

3) 残りのモデルの登録

残りのモデルは③と④の行です。便法を使って登録します。

つぎのようにします。

(ア)《仕訳日記帳》画面で「アクション」を「訂正」にします

(イ)「登録済一覧」から③の行に相当する取引を探し、その「*」欄をマウス左クリックします。

(ウ)「仕訳モデル」の「登録」ボタンをクリックします。

(エ)《仕訳モデルの登録》画面になり、その「入力欄」には《仕訳日記帳》の「入力欄」の内容が転送されています。

(オ)「仕訳モデルに対するアクション」は「新規」にします。

「入力欄」の内容は変更しなくてもよいので、「新規」ボタンを押します。
これで③が登録されます。

同じようにして④の登録をします。以下ようになります。

《登録されました》

登録した仕訳モデル								
* 連番	コード	借方科目	借方金額	コード	貸方科目	貸方金額	摘要	
1	111	A 銀行普通	80,000	700	貸貸料	80,000	101	山田 2月分家賃
2	111	A 銀行普通	70,000	700	貸貸料	70,000	201	小島 2月分家賃
3	400	借入金	100,000	111	A 銀行普通	110,000	銀行ローン元金分	
* 4	780	借入金利息	10,000				銀行ローン利息分	

4) 区切り行の登録

「貸貸料」と「ローン返済」との間に「区切り行」を入れます。その方が見やすくなります。

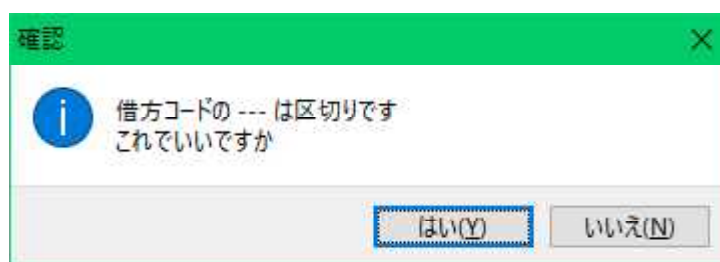
手順はつぎのようにします。

- (ア) 《仕訳モデルの登録》画面で、「アクション」を「前に挿入」を選択します
- (イ) 「登録した仕訳モデル」の連番3の「*」欄をマウス左クリックします
- (ウ) つぎの入力をします

連番 Enterキーを押す

コード(借方) ---

この時点で次のメッセージが出ますが「はい」で進めてください。



- (エ) 入力欄のすべての項目が ---- で埋められます。

《---- で埋められた》

仕訳モデル入力欄							科目ヘルプ	入力欄クリア
連番	コード	借方科目	借方金額	コード	貸方科目	貸方金額	摘要	
3	---	-----	-----	---	-----	-----	-----	

(工)「挿入」ボタンを押します。

《仕切り行ができた》

登録した仕訳モデル

* 連番	J-T*	借方科目	借方金額	J-T*	貸方科目	貸方金額	摘
1	111	A 銀行普通	80,000	700	賃貸料	80,000	101 山田 2月分家賃
2	111	A 銀行普通	70,000	700	賃貸料	70,000	201 小島 2月分家賃
3	----	-----	-----	----	-----	-----	-----
* 4	400	借入金	100,000	111	A 銀行普通	110,000	銀行ローン元金分
5	780	借入金利子	10,000				銀行ローン利息分

(4) 仕訳日記帳の入力の省力化

1) 登録済一覧の項目からの転送

これは大変に役立つ方法です。①②の行はすでに登録済みとします。

つぎの③の入力で「登録済一覧」の①の利用できる項目をマウス右クリックして転送するのです。

		借 方		貸 方		摘 要
	月日	科目名	金 額	科目名	金 額	
①	2/9	111 A 銀行普通	8万円	700 賃貸料	8万円	101 山田 2 月分家賃
②	2/10	111 A 銀行普通	7万円	700 賃貸料	7万円	201 小島 2 月分家賃
③	3/8	111 A 銀行普通	8万円	700 賃貸料	8万円	101 山田 3 月分家賃
④	3/8	111 A 銀行普通	7万円	700 賃貸料	7万円	201 小島 3 月分家賃

③の入力手順は以下のようにします。登録済一覧で①の行を探し

③の入力

アクション ... 「新規」にします

借方コード ... 登録済一覧で①の行を探し①の借方コードを右クリック
画面はそのままにしておきます。「新規」にしたときの画面と違っていても大丈夫です。

借方金額 ... ①の借方金額を右クリック

貸方コード ... ①の貸方コードを右クリック

貸方金額 ... ①の貸方金額を右クリック

摘 要 ... ①の摘要を右クリックし、2 を 3 に訂正します。

Enterキーを押すと「新規」ボタンが待機し、同時に画面が「新規」にしたときの画面に戻ります。

これで③の入力は終わりです。あとは「新規」ボタンを押すだけです。

④も同じようにします。

転送は任意の行、任意の項目からでもできますが、対応する項目間だけです。

たとえば、「借方コード」を「貸方コード」に転送することはできません。

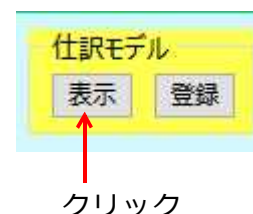
転送は必ずしも同じでなくてもかまいません。似た文字を転送して部分修正をすればよいのです。

2) 「仕訳モデル」の利用

つぎの3月分の家賃を仕訳モデルを使って入力します。

		借 方		貸 方		摘 要
	月日	科目名	金 額	科目名	金 額	
①	3/8	111 A 銀行普通	8万円	700 賃貸料	8万円	101 山田 3 月分家賃
②	3/8	111 A 銀行普通	7万円	700 賃貸料	7万円	201 小島 3 月分家賃

よく使う仕訳(取引)は、モデル登録をしておき再利用します。「表示」をクリックして、仕訳モデルを選びます。下のように、2月分家賃が登録してあるとして連番1～2を転送します。



《仕訳モデルの表示》

仕訳モデルの表示：2017年(平成29年)

転送行
 始め行： 終り行：
 始め行、終り行は下のモデルの目的行の*欄をマウス左クリック
 転送して戻る

登録されている仕訳モデル

* 連番	コード	借方科目	借方金額	コード	貸方科目	貸方金額	摘
* 1	111	A銀行普通	80,000	700	賃貸料	80,000	101 山田 2月分家賃
* 2	111	A銀行普通	70,000	700	賃貸料	70,000	201 小島 2月分家賃
3	----	-----	-----	----	-----	-----	-----
4	400	借入金	100,000	111	A銀行普通	110,000	銀行ローン元金分
5	780	借入金利息	10,000				銀行ローン利息分

手順はつぎのようにします。

- (ア) 《仕訳日記帳》画面で、「アクション」を「新規」にします。
- (イ) 「仕訳モデル」の「表示」ボタンをクリックします。
- (ウ) 《仕訳モデルの表示》画面で、「登録されている仕訳モデル」の
 「始め行」として連番1の「*」欄 ... マウス左クリック
 「終り行」として連番2の「*」欄 ... マウス左クリック
- (エ) 「転送して戻る」ボタンをクリックします。
- (オ) 《仕訳日記帳》画面の「入力欄」で「月/日」や「摘要」の2月を3月に修正して「新規」ボタンをクリックします。
- (カ) ②に相当するモデルが転送されるので、これもしかるべき修正をして「新規」ボタンをクリックします。

以上でモデルからの入力は終わりです。

転送した仕訳モデルに不用の行がある場合はどうするのでしょうか。手順を説明しておきます。

つぎの入力をします。

	借 方		貸 方		摘 要
	月日	科目名	金額	科目名	金額
①	3/8	A 銀行普通	8万円	賃貸料	8万円
②	3/8	A 銀行普通	7万円	賃貸料	7万円
③	3/10	A 銀行普通	7万円	礼金・権利金・更新料	7万円
					101 山田 3 月分家賃
					201 小島 3 月分家賃
					201 小島 更新料

(ア) 《仕訳日記帳》画面で、「アクション」を「新規」にします。

(イ) 「仕訳モデル」の「表示」ボタンをクリックします。

(ウ) 《仕訳モデルの表示》画面で、「登録されている仕訳モデル」の

「始め行」として連番 1 の「*」欄 ... マウス左クリック

「終り行」として連番 5 の「*」欄 ... マウス左クリック

(エ) 「転送して戻る」ボタンをクリックします。

《仕訳モデルの表示》

仕訳モデルの表示：2017年(平成29年)

転送行
始め行： 1 終り行： 5

始め行、終り行は下のモデルの目的行の*欄をマウス左クリック

転送して戻る

登録されている仕訳モデル

* 連番	J-T*	借方科目	借方金額	J-T*	貸方科目	貸方金額	摘
* 1	111	A 銀行普通	80,000	700	賃貸料	80,000	101 山田 2 月分家賃
2	111	A 銀行普通	70,000	700	賃貸料	70,000	201 小島 2 月分家賃
3	----	-----	-----	----	-----	-----	-----
4	111	A 銀行普通	80,000	710	礼金・権利金・更新料	80,000	101 山田 更新料
* 5	111	A 銀行普通	70,000	710	礼金・権利金・更新料	70,000	201 小島 更新料
6	----	-----	-----	----	-----	-----	-----
7	400	借入金	100,000	111	A 銀行普通	110,000	銀行ローン元金分
8	780	借入金利息	10,000				銀行ローン利息分

(オ) 《仕訳日記帳》画面に戻るので①②の入力をします。

(カ) ②を登録すると次のモデルが入力欄に転送されます。

これは「仕切り行」で仕訳には使えません。「入力欄クリア」ボタンを押します。

《仕切り行》

入力欄

上段：借方 / 下段：貸方

連番	伝票	月/日	J-T*	科 目	金 額	摘 要
			----	-----	-----	
			----	-----	-----	

入力欄フォーカス
右へ：Enter
左へ：CTRL+←

科目ヘルプ 仕訳の例

転送残 2

入力欄クリア

(キ) 次のモデルが入力欄に転送されます。

これは人違いなので「入力欄クリア」ボタンを押します。

《人違い》

入力欄			上段：借方 / 下段：貸方			転送残	入力欄クリア
連番	伝票	月/日	コード	科目	金額	1	
			111	A銀行普通	80,000		摘要
			710	礼金・権利金・更新料	80,000	101 山田 更新料	

入力欄フォーカス
右へ：Enter
左へ：CTRL+←

科目ヘルプ 仕訳の例

(ク) ③に相当するモデルが転送されるので、「新規」ボタンをクリックします。

《③のモデル》

入力欄			上段：借方 / 下段：貸方			転送残	入力欄クリア
連番	伝票	月/日	コード	科目	金額	0	
			111	A銀行普通	70,000		摘要
			710	礼金・権利金・更新料	70,000	201 小島 更新料	

入力欄フォーカス
右へ：Enter

不用な行は「入力欄クリア」ボタンを押して先に進めればよいのです。

以上でモデルからの入力は終わりです。

(5) 前に挿入する

いくつもの取引を登録すると洩れてしまうものも出てきます。そういった「洩れ」をあとから追加する方法です。

例として、つぎの取引を洩らしたとします。

月/日	借 方	金額	貸方	金額	摘 要
2/27	810 水道光熱費	1200円	111 A 銀行普通	1200円	共用電気

水道光熱費はヘルプを見てもありません。登録してないからです。それでは登録してみます。

「初期設定」に行きます。

アクション ... 「登録・訂正」を指定し区分が費用の行までスクロールします。
コード ... 810
科目名 ... 水道光熱費
期首残高 ... 自動スキップ
メモ ... Enter
登録・訂正 ... ボタンをクリックします。

仕訳日記帳で挿入データの入力

挿入位置は、日付順になるような行(連番位置)になります。手順はつぎのようにします。

(ア)「入力欄のアクション」を「前に挿入」にします。

(イ)「入力欄」に入力をします。入力項目に以下のように入力します。

連番 ... 「登録済一覧」の連番11の*をマウス左クリックします。
または、11(連番11の前に挿入するため)と入力します。
伝票 ... 伝票は使っていないので、Enter を押します。
月/日 ... 2/27 と入力します。
借方コード ... 水道光熱費の勘定科目コード 810 を入力します。
わからなければ「科目ヘルプ」をクリックして探します。
借方科目 ... 漢字の科目名はコードが入力されると、自動的に入力されています。
借方金額 ... 1200
貸方コード ... 借方の時と同じ要領です。111 を入力するか他の行から転送します。
貸方科目 ... 漢字の科目名はコードが入力されると、自動的に入力されています。
貸方金額 ... 借方金額と同じなのでEnter を押します。
摘要 ... 「共用電気」と入力します。

(ウ)「挿入」ボタンをクリックします。

《挿入後》

	10	02/25	400	借入金	100,000	111	A銀行普通	110,000	銀行ローン元金分
	11	02/25	780	借入金利息	10,000				銀行ローン利息分
	12	02/27	810	水道光熱費	1,200	111	A銀行普通	1,200	共用電気
*	13	03/08	111	A銀行普通	150,000	700	賃貸料	80,000	101 山田 3月分家賃
	14	03/08				700	賃貸料	70,000	201 小島 3月分家賃

挿入されている

(6) 訂正をする

これで、すべての入力が終わりました。いくつかの入力をするの間違った内容を入力してしまうことがあります。そういったときの訂正方法を説明します。

例として、先ほど挿入をした「水道光熱費」の金額を「2000円」に訂正してみます。手順はつぎのようにします。

- (ア) 「入力欄のアクション」を「訂正」にします。
- (イ) 「登録済一覧」の訂正すべき連番(11)の* 欄を左クリックします。
- (ウ) 入力欄に訂正前の値が入ります。
- (エ) 金額の訂正なので、金額欄まで Enter します。
- (オ) 金額を訂正し Enter し、「訂正」ボタンを押します。

これで訂正されている筈です。「登録済一覧」で確認してください。

《訂正後》

	8	02/10	111	A銀行普通	70,000	700	賃貸料	70,000	201 小島 2月分家賃
	9	02/25	400	借入金	100,000	111	A銀行普通	110,000	銀行ローン元金分
	10	02/25	780	借入金利息	10,000				銀行ローン利息分
*	11	02/27	810	水道光熱費	2,000	111	A銀行普通	2,000	共用電気
	12	03/08	111	A銀行普通	150,000	700	賃貸料	80,000	101 山田 3月分家賃
	13	03/08				700	賃貸料	70,000	201 小島 3月分家賃

訂正されている

(7) 削除する

今、すべての入力が終わっていますが、不要な行を削除したいときの方法です。挿入した「水道光熱費」を削除してみましょう。

つぎのようにします。

- (ア) 「入力欄のアクション」を「削除」にします。
- (イ) 「登録済一覧」の削除すべき連番11の* 欄を左クリックします。

(ウ) 入力欄に削除前の値が入ります。

(エ) 「削除」ボタンを押します。

これで削除されます。「登録済一覧」で確認してください。

《削除後》

	8	02/10	111	A銀行普通	70,000	700	貸付料	70,000	201 小島 2月分家賃
	9	02/25	400	借入金	100,000	111	A銀行普通	110,000	銀行ローン元金分
*	10	02/25	780	借入金利子	10,000				銀行ローン利息分
	11	03/08	111	A銀行普通	150,000	700	貸付料	80,000	101 山田 3月分家賃
	12	03/08				700	貸付料	70,000	201 小島 3月分家賃